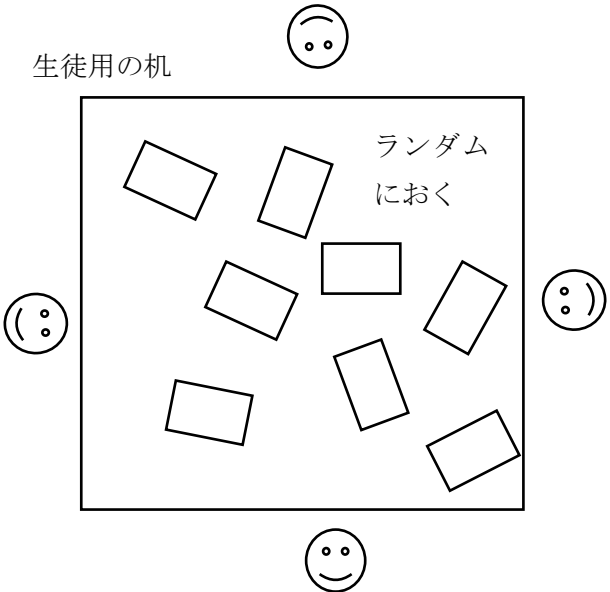


自作教具の活用事例

【作品名】 敬語・神経衰弱	【学校名】 日 立 市 立 坂 本 小 学 校
【活用できる領域・教科等】 国語	【制作者名】 須賀川正一
【制作の意図】 敬語の理解が苦手であったり、関心がもてなかったりする児童でも、トランプの「神経衰弱」のようにゲーム感覚で楽しみながら、敬語を理解する契機とすることができる。	【使用方法】 2～4人で行う。トランプの「神経衰弱」のやり方で、裏返しにされたカードを2枚めくり、同じ意味の通常語と敬語を組み合わせる。同じ意味の通常語と敬語を組み合わせたら、その2枚のカードを取ることができる。カードを多く取った人が勝ちとなる。
【制作上の工夫】 裏返しにされたカードの模様には、親しみやすく敬語のイメージをもちやすいイラストと敬語の3種類の語を用いた。 敬語と通常語は、3種類の語で色分けして、敬語の種類についても意識化できるようにした。 簡易にできて、慣れ親しんだトランプというゲームの要素を取り入れることで隙間時間にも活用できる	【見取り図】 
【写真】 	【使用効果と応用発展】 単元が終わっても、授業始めのウォームアップや生活単元、休み時間などにも活用できる。 小手段でも教師と1対1の個別指導でも利用できる。 引き当てた語で、口頭やノート（またはワークシートで）短文作成を試みる。
【材料・材質・部品等】 パソコンで作成したA4用紙 ラミネート加工（角は鋭角の部分を取り取る）	